

沿革

1999年	3月	ソフトバンク(株)の純粋持株会社化に伴う事業再編成を受けて、ソフトバンク(株)管理本部がソフトバンク・ファイナンス(株)として独立。金融関連分野における事業活動を統括する事業持株会社となる。
	7月	ベンチャーズ・インキュベーション事業を行う事を目的として、ソフトバンク・インベストメント(株)(現SBIホールディングス株式会社、以下「SBI」)を設立。
2000年	6月	モーニングスター(株)がナスダック・ジャパン市場(現:大証ヘラクレス)に上場。
	9月	イー・トレード(株)(現SBIホールディングス(株))がナスダック・ジャパン市場(現:大証ヘラクレス)に上場。
	12月	SBIがナスダック・ジャパン市場(現:大証ヘラクレス)に上場。
2001年	8月	ソフトバンク・フロンティア証券(株)(ワールド日栄証券と合併後、SBI証券(株)に商号変更)がナスダック・ジャパン市場(現:大証ヘラクレス)に上場。
2002年	2月	SBIが東京証券取引所市場第一部に上場。
	11月	SBIが大阪証券取引所市場第一部に上場。
2003年	6月	SBIがイー・トレード(株)(現SBIホールディングス(株))と合併し、事業持株会社としてイー・トレード証券(株)他を子会社とする。以後、SBIを中核会社とする事業再編を加速。
	9月	ファイナンス・オール(株)が大証ヘラクレス市場に上場。
	10月	ワールド日栄証券(株)(旧SBI証券(株))を買収し、子会社とする。
2004年	10月	ペリトランス(株)(現SBIペリトランス(株))が大証ヘラクレス市場に上場。
	11月	イー・トレード証券(株)(現(株)SBI証券)がJASDAQ市場に上場。
2005年	3月	公募増資によりソフトバンク(株)の持株比率が低下し、ソフトバンク(株)の連結子会社から持分法適用関連会社に変更。
	7月	ソフトバンク・インベストメント(株)からSBIホールディングス(株)に商号変更。会社分割により、アセットマネジメント事業をソフトバンク・インベストメント(株)(旧SBIベンチャーズ(株))に移管し、持株会社体制へ移行。
2006年	3月	SBIホールディングス(株)がSBIパートナーズ(株)およびファイナンス・オール(株)を合併。株式交換により旧SBI証券(株)を完全子会社化。
	5月	SBIフューチャーズ(株)が大証ヘラクレス市場に上場。
	8月	モーニングスター(株)の子会社であるゴメス・コンサルティング(株)が大証ヘラクレス市場に上場。主要株主であるソフトバンク(株)の子会社がSBIホールディングス(株)の全株式を売却したことにより、ソフトバンク(株)の持分法適用関連会社より除外となる。
2007年	2月	SBIイー・トレード証券(株)(現(株)SBI証券)の韓国における子会社E*TRADE Korea Co., Ltd.が韓国KOSDAQ市場に上場。
	10月	SBI証券(株)はSBIイー・トレード証券(株)(現(株)SBI証券)を存続会社として合併。
2008年	8月	株式交換により(株)SBI証券を完全子会社化。
	9月	(株)SBI証券の韓国における子会社E*TRADE Korea Co., Ltd.の株式を譲渡。
2009年	8月	株式交換によりSBIフューチャーズ(株)を完全子会社化。
2010年	2月	SBIアクサ生命保険(株)の全株式をアクサ ジャパン ホールディング(株)に譲渡。
	4月	(株)SBI証券がSBIフューチャーズ(株)を合併。
	6月	第三者割当増資に応じ韓国KOSDAQ市場上場のKTIC Global Investment Advisory Co., Ltd.(現SBI Global Investment Co., Ltd.)を子会社とする。
	7月	追加増資に応じ韓国KOSDAQ市場上場のKorea Technology Investment Corporationを子会社とする。

トピックス

2009

- 4月 ■ SBIペリトランス(株)、アジア向けEC事業者を支援するコンソーシアム「E Commerce for Asia Alliance」発足
- SBIペリトランス(株)、中国向け日本ECモール「佰宜杰.com(バイジェイドットコム)」を本格開始
- 5月 ■ SBIカードプロセッシング(株)、海外金融機関向けクロスボーダー災害復旧サービスをタイ国のタナチャート銀行に提供
- 6月 ■ SBIアラプロモ(株)、ドイツmedac社と欧州における医薬品開発事業を手掛ける合弁会社を設立
- マレーシア国営資産運用機関子会社と投資ファンドを共同設立することで最終合意
- 米国ダウ・ジョーンズとの合弁会社「ウォール・ストリート・ジャーナル・ジャパン(株)」設立
- (株)SBI証券、日本インベスターズ証券(株)の事業譲受けに関して契約締結
- 7月 ■ 生活関連事業の一部をSBLライフリビング(株)(旧(株)リビングコーポレーション)へ移管
- SBIモーゲージ(株)、グループ内外の金融商品を提供するリアル店舗「SBI住宅ローン／SBIマネープラザ」1号店をオープン
- SBIオートサポート(株)がゲオグループと提携、ゲオの店舗を活用して、SBI損害保険の自動車保険の紹介を開始
- 住信SBIネット銀行(株)、SBIオートサポート(株)および(株)セディナと連携し「SBIオートローン」の取扱開始
- 8月 ■ 株式交換によりSBIフューチャーズ(株)を完全子会社化
- 当社グループ子会社等を通じて、ベトナムの商業銀行 Tien Phong Commercial Joint Stock Bank株式の20%を取得
- (株)ゲオと包括的業務提携および共同出資による事業会社設立について基本合意
- 9月 ■ (株)光通信の100%子会社である(株)HIKARI プライベート・エクイティより同社のファンド事業の一部をファンド業務執行権等とともに譲受
- 当社子会社の運営ファンドによる(株)ナルミヤ・インターナショナル株券等に対する公開買付けの開始を発表
- 10月 ■ (株)ガリバーインターナショナルと自動車関連金融分野において業務提携
- 11月 ■ SBIペリトランス(株)、中国アイリサーチ社創業者と合弁会社「SBIリサーチ(株)」を設立
- (株)SBI証券、大手ネット証券初となる「ロシア株式取引」の提供を開始
- (株)ゲオとの合弁会社、「SBIゲオマーケティング(株)」を設立
- 12月 ■ 「ウォール・ストリート・ジャーナル日本版」サイトをオープン
- (株)SBI証券、オンライン証券で初めて証券総合口座200万口座を突破

2010

- 1月 ■ SBIリクイディティ・マーケット(株)、住信SBIネット銀行(株)に対しFX取引の顧客向けマーケットインフラの提供を開始
- 2月 ■ 共通ポイントプログラム「Ponta(ポンタ)」のサービスにSBIグループ5社の参加を発表
- SBIアクサ生命保険(株)の全株式を、アクサ ジャパン ホールディング(株)へ譲渡
- 日本最大の中国情報サイトを運営する(株)サーチナを子会社化
- 3月 ■ 日本初となるインターネットを主要チャネルとする国際送金サービス事業への参入を発表
- 中国四大経済専門紙の一つである中国証券報社と合弁会社設立に関する覚書を締結
- ブルネイ財務省とのイスラム適格ファンド共同設立について最終合意
- ゲオ店舗内第一号店となる「SBI住宅ローン／SBIマネープラザ」ゲオ八尾店(大阪府)をオープン
- 4月 ■ (株)SBI証券がSBIフューチャーズ(株)を合併
- 中国上海市に「SBIホールディングス株式会社上海駐在員事務所」を開設
- 5月 ■ 韓国KOSDAQ市場上場のKTIC Global Investment Advisory Co., Ltd.の第三者割当増資に応じ、子会社化を発表(6月に連結子会社化、および商号を「SBI Global Investment Co., Ltd.」に変更)
- 6月 ■ スリランカの大手商業銀行であるCommercial Bank of Ceylon PLCの発行済株式9.99%を当社子会社を通じて取得
- 一般募集による311万株の公募増資を実施
- SBIカード(株)、(株)ゲオとの提携カード「GEO Ponta Visaカード」の会員募集を開始
- 米国の大手証券会社でグローバルに投資銀行業務等を手掛けるJefferies Group Inc.と、米国およびアジアの企業を対象とした投資ファンドの共同設立について合意
- 7月 ■ (株)ガリバーインターナショナルの金融子会社である(株)ジー・ワンファイナンシャルサービスの信販子会社(株)ジー・ワンクレジットサービス(2010年10月1日に「SBIクレジット(株)」へ商号変更予定)の株式を譲受
- 中国の大手損害保険会社である天安保険社の発行済株式7.65%を既存株主より取得することを発表
- 韓国 KOSDAQ 市場上場の Korea Technology Investment Corporationの追加増資に応じ、連結子会社化